

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 6号)

2020年12月 7日発行
 兵庫のみ研究所

この海域西部を中心にキートセロスが優占的に多く発生しており、発生量も前回(12/4)調査と比較し増加していました。今回調査は下げ潮～干潮時で、その海水が林崎新漁場中央付近にまで波及していたこともあり、この海域の窒素の平均は1.6 μg-at/Lと漁場全体的に低い値を示しました。

(水温) 漁場内平均16.3℃。平年より0.6℃、昨年より0.9℃ともに高い。
 (栄養塩、珪藻) コシノディスカスは海域全般に確認(海水1Lあたり20～120細胞)されるが前回調査と比較し大きな増減は認められない。この海域西部で多く見られるキートセロスは、発生していた小型のものに加え肉眼視できるやや大きい種類のものまで確認され、発生量が増加している。陸水等の影響が見られた魚住～八木鋼管、また水温の高かった林崎新漁場東部～明石海峡部にかけての窒素は概ね3 μg-at/L台であるが、それ以外の海域では全般に1 μg-at/L以下とかなり低い状況であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	17.4	16.3	15.7	15.4
窒素	2.6	1.6	6.6	2.2
リン	0.51	0.41	0.61	0.50

(12/4) (12/6)

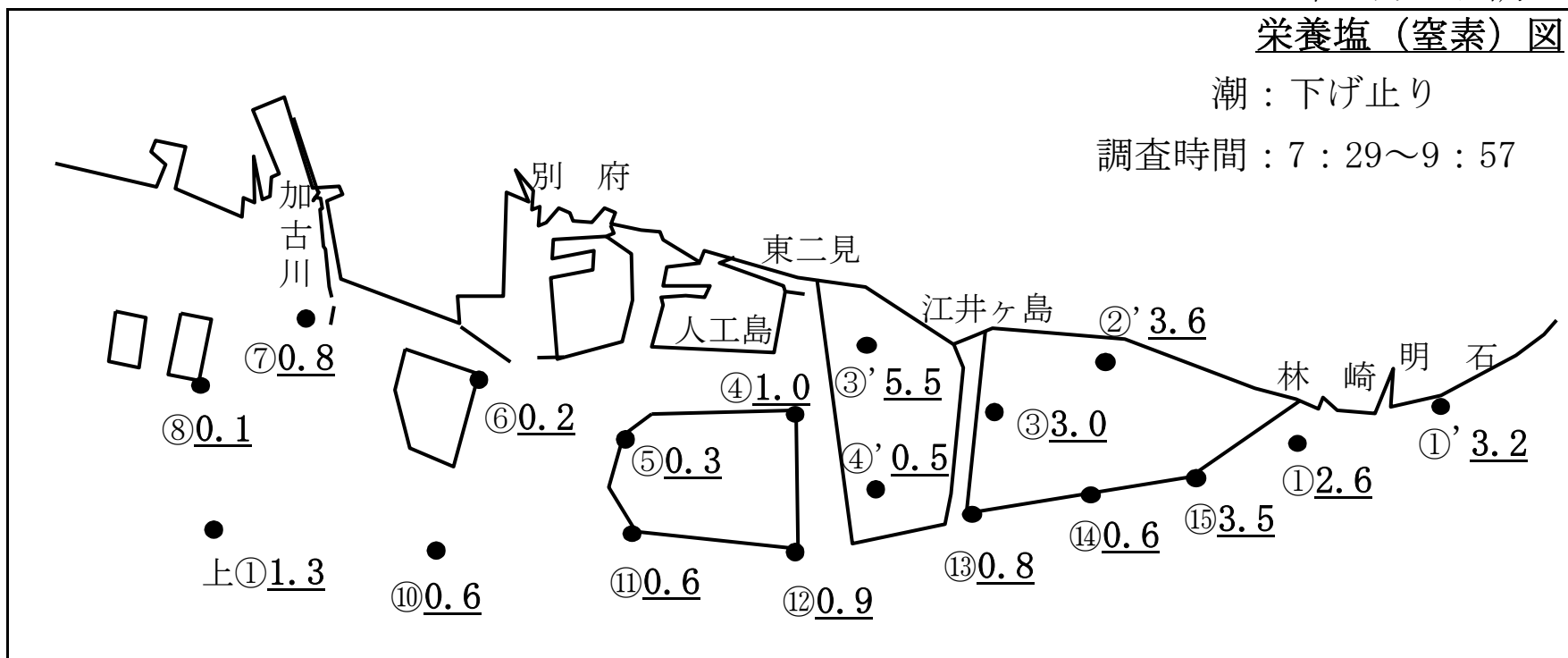
西播地先					
伊保地	水温	16.3℃	伊保沖	水温	16.8℃
	窒素	0.3		窒素	0.8
	リン	0.36		リン	0.50
白浜地	水温	16.3℃	白浜沖	水温	16.2℃
	窒素	0.2		窒素	0.1
	リン	0.29		リン	0.31

2020年12月 7日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：下げ止り

調査時間：7:29～9:57



水温図

